

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

平成 28 年 11 月 16 日

審査機関名 ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	化学プラントにおける C 重油焚きボイラから都市ガス焚きボイラへの更新による CO ₂ 排出削減
プロジェクト番号	KC0525
排出削減事業者名	株式会社日本ファインケム
排出削減共同実施事業者名	カーボンフリーコンサルティング株式会社 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	坂出工場 (住所：香川県坂出市入船町二丁目 2 番 14 号)
事業の概要	C 重油焚きボイラ 1 台を高効率の都市ガス焚きボイラ 4 台に更新する。ボイラの高効率化による燃料使用量削減および低炭素燃料へのエネルギー転換によって CO ₂ 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2009 年度 309tCO ₂ /年 2010 年度 1,238tCO ₂ /年 2011 年度 1,238tCO ₂ /年 2012 年度 1,238tCO ₂ /年 2013 年度 1,191tCO ₂ /年 2014 年度 1,191tCO ₂ /年 2015 年度 1,191tCO ₂ /年 2016 年度 1,191tCO ₂ /年 2017 年度 893tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 9,690tCO ₂)
クレジット 認証期間	開始日 2010 年 1 月 1 日 終了予定日 2017 年 12 月 31 日

排出削減方法論	方法論番号 001 「ボイラーの更新」
---------	---------------------

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2016年7月31日（第4回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	3,101tCO ₂ （2013年4月1日～2016年7月31日）
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 第4回目の実績確認のため、該当なし 2) 対象期間中の設備稼働確認 導入した都市ガスボイラ設備は実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間における都市ガスの計測値等により確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 審査関係者へのヒアリングにより、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、都市ガス使用量のモニタリングが実施されていることを確認した。 2) 活動量の正確性 都市ガス購入量のお知らせの確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、都市ガス使用量の記録・保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認

	<p>使用されている都市ガスの単位発熱量は四国ガス提供値。 また、排出係数は、J-クレジット制度・モニタリング・算定規程(排出削減プロジェクト用)Ver2.5 及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を根拠資料と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p>
算定期間が移行期間内であること	<p>本実績確認の対象期間は、2013年4月1日から2016年7月31日までであり、排出削減量を算定した期間が2017年12月31日を超えないことを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

なし。

6. 特記事項

①省エネルギー量が 63.5kl であることを確認した。

②計画 1,238tCO₂/年、実績：930tCO₂/年で計画比-25%。前回(1,120tCO₂)比-17%となっている。理由は、蒸気を使用して製造する製品の一部分が、その製造を新潟の工場に移管しており、それに伴ってボイラーの稼働率が下がっている、とのことである。

以上